



氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名  
添付の申請書の写しに記載のとおり

核燃料輸送物設計承認書の有効期間

ただし、核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則（昭和53年総理府令第57号）及び核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示（平成2年科学技術庁告示第5号）（以下「規則等」という。）の改正により、規則等に定める技術上の基準（設計に係るものに限る。）に適合しなくなった場合は失効する。

核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示（平成2年科学技術庁告示第5号）第41条第2項第3号から第12号まで及び第14号に掲げる事項

添付の申請書の写しの1. から13. までに記載のとおり

# 核燃料輸送物設計承認申請書

21京大施環化第44号  
令和3年6月7日

原子力規制委員会 殿

住 所 京都府京都市左京区吉田本町36番地1  
氏 名 国立大学法人京都大学

学 長 湊 長 博

核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示（平成2年科学技術庁告示第5号）第41条第1項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1. 核燃料輸送物の名称

■■■■ 型

2. 輸送容器の外形寸法、重量及び主要材料

- (1) 輸送容器の外形寸法
- (2) 輸送容器の重量
- (3) 核燃料輸送物の総重量
- (4) 輸送容器の概略を示す図  
第1図のとおり



詳細形状は、本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請書（令和3年6月7日付け21京大施環化第44号）に係る別紙の（イ）－第C.2図、（イ）－第C.6図から（イ）－第C.12図までに示されている。

- (5) 輸送容器の主要材料

イ	ドラムアSEMBリ	ステンレス鋼、■■■■
ロ	収納容器	ステンレス鋼
ハ	断熱材	■■■■
ニ	中性子吸収材	■■■■
ホ	収納容器	ステンレス鋼

3. 核燃料輸送物の種類

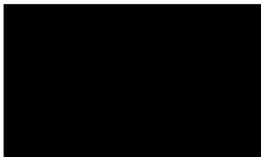
BU型核分裂性輸送物

4. 収納する核燃料物質等の種類、形状、重量及び放射能の量

第1表のとおり

5. 輸送制限個数

- (1) 輸送制限個数 :
- (2) 輸送制限配列 :
- (3) 臨界安全指数 :



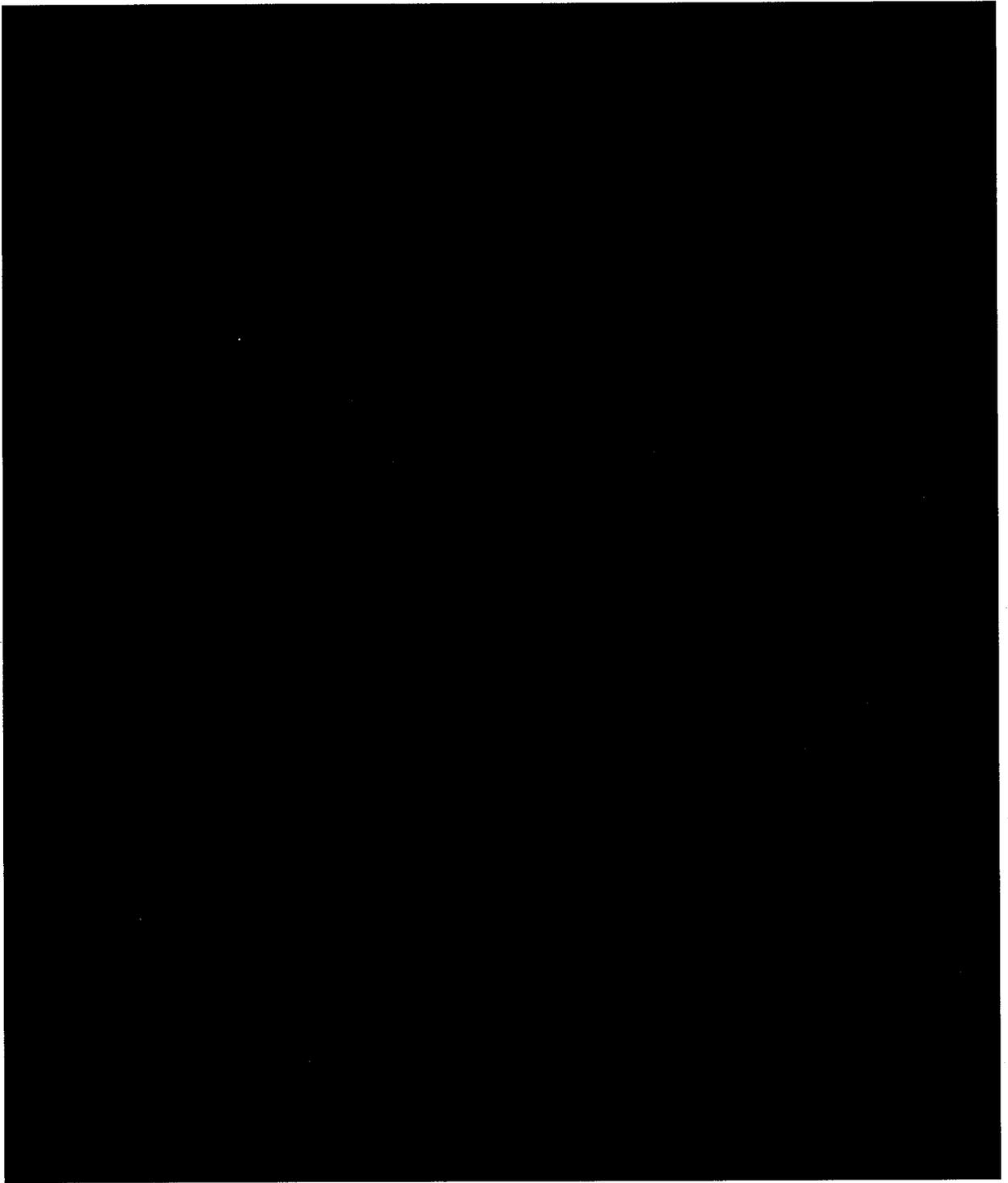
6. 運搬中に予想される周囲の温度の範囲



7. 収納物の臨界防止のための核燃料輸送物の構造に関する事項

収納物の臨界防止のため、収納物は専用の収納缶に収納され、所定の間隔、位置が保たれるようになっている。





第 1 图 [REDACTED] 型核燃料輸送物全体図

第1表 収納する核燃料物質等の仕様 (1/2)

項目		仕様	
種類		[Redacted]	
性状			
型式			
寸法 (mm)			
燃料板重量 (g)			
輸送物1基あたりの仕様	燃料板収納数 <sup>※1</sup> (枚)		
	<sup>235</sup> U重量 (kg)		
	ウラン濃縮度 (重量%)		
	放射能の量 (Bq)		
	主要核種の放射能の量 (Bq)		<sup>235</sup> U
	発熱量 (W)		5 以下
燃焼度 (%)		[Redacted]	
冷却日数 (日)		[Redacted]	

[Redacted]

第1表 収納する核燃料物質等の仕様 (2/2)

項目		仕様	
種類		[Redacted]	
性状			
型式			
燃料重量 (g)			
輸送物1基あたりの仕様	[Redacted] 収納数 (g)		
	<sup>235</sup> U重量 (kg)		
	ウラン濃縮度 (重量%)		
	放射能の量 (Bq)		
	主要核種の放射能の量 (Bq)		<sup>235</sup> U
	発熱量 (W)		
燃焼度 (%)			
冷却日数 (日)			

[Redacted]

# 核燃料輸送物設計承認申請書の一部補正について

21京大施環化第90号  
令和3年11月15日

原子力規制委員会 殿

住 所 京都府京都市左京区吉田本町36番地1  
氏 名 国立大学法人京都大学

学 長 湊 長 博

令和3年6月7日付け21京大施環化第44号をもって申請しました核燃料輸送物設計承認申請書について、下記のとおり一部補正します。

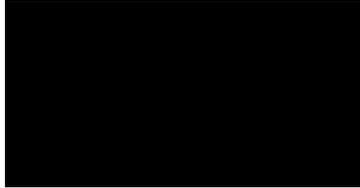
記

1. 核燃料輸送物の名称

■■■■型

2. 輸送容器の外形寸法、重量及び主要材料

- (1) 輸送容器の外形寸法
- (2) 輸送容器の重量
- (3) 核燃料輸送物の総重量
- (4) 輸送容器の概略を示す図



第1図のとおり

詳細形状は、本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請書（令和3年6月7日付け21京大施環化第44号（令和3年11月15日付け21京大施環化第90号をもって一部補正）に係る別紙の（イ）－第C.2図、（イ）－第C.6図から（イ）－第C.12図までに示されている。

- (5) 輸送容器の主要材料

イ	ドラムアセンブリ	ステンレス鋼、■■■■ ■■■■
ロ	収納容器	ステンレス鋼
ハ	断熱材	■■■■
ニ	中性子吸収材	■■■■
ホ	収納容器	ステンレス鋼

3. 核燃料輸送物の種類

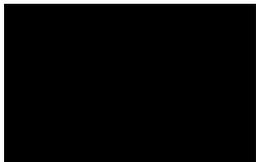
BU型核分裂性輸送物

4. 収納する核燃料物質等の種類、形状、重量及び放射能の量

第1表のとおり

5. 輸送制限個数

- (1) 輸送制限個数
- (2) 輸送制限配列
- (3) 臨界安全指数



6. 運搬中に予想される周囲の温度の範囲

−40℃から38℃まで

7. 収納物の臨界防止のための核燃料輸送物の構造に関する事項

収納物の臨界防止のため、収納物は専用の収納缶に収納され、所定の間隔、位置が保たれるようになっている。

8. 臨界安全評価における浸水の領域に関する事項

臨界計算は、密封境界である輸送容器内部への水の浸水を考慮し、実施している。

9. 収納物の密封性に関する事項

本輸送容器の密封境界は、収納容器本体とシール蓋で構成され、収納容器本体とシール蓋の接触部は [REDACTED] Oリングで密封される。

10. BM型輸送物にあっては、BU型輸送物の設計基準のうち適合しない基準

該当なし

11. 輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱いに関する事項

本輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱いについては、本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請書（令和3年6月7日付け21京大施環化第44号（令和3年11月15日付け21京大施環化第90号をもって一部補正））に係る別紙のとおり。

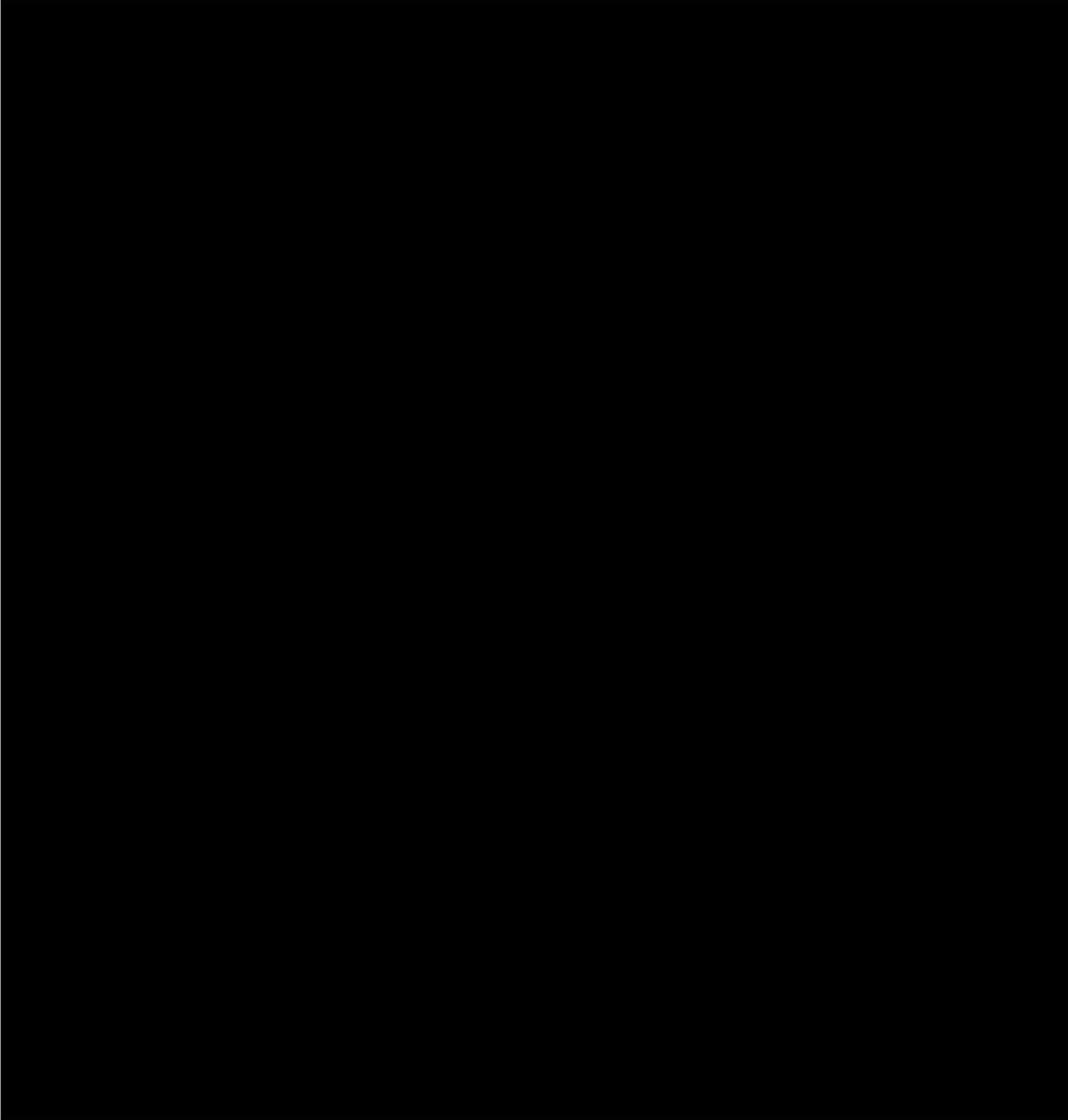
12. 輸送容器に係る品質管理の方法等（設計に係るものに限る。）に関する事項

輸送容器に係る品質管理の方法等（設計に係るものに限る。）については、本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請書（令和3年6月7日付け21京大施環化第44号（令和3年11月15日付け21京大施環化第90号をもって一部補正））に係る別紙のとおり。

13. その他特記事項

（1）使用予定年数

[REDACTED]



第 1 图 [REDACTED] 型核燃料輸送物全体図

第1表 収納する核燃料物質等の仕様 (1/2)

項目		仕様	
種類		[Redacted]	
性状			
型式			
寸法 (mm)			
重量 (g)			
輸送物1基あたりの仕様	収納数 <sup>※1</sup> (枚)		
	<sup>235</sup> U重量 (kg)		
	ウラン濃縮度 (重量%)		
	放射能の量 (Bq)		
	主要核種の放射能の量 (Bq)		<sup>235</sup> U
	発熱量 (W)		
燃焼度 (%)			
冷却日数 (日)			

- ・ 収納物表面から 1m 離れた位置での空気吸収線量率は 1Gy/h 以下

第1表 収納する核燃料物質等の仕様 (2/2)

項目		仕様	
種類		[Redacted]	
性状			
型式			
燃料重量 (g)			
輸送物1基あたりの仕様	[Redacted] 収納数 (g)		
	<sup>235</sup> U重量 (kg)		
	ウラン濃縮度 (重量%)		
	放射能の量 (Bq)		
	主要核種の放射能の量 (Bq)		<sup>235</sup> U
	発熱量 (W)		
燃焼度 (%)			
冷却日数 (日)			

- ・ 収納物表面から 1m 離れた位置での空気吸収線量率は 1Gy/h 以下